

<ニュースリリース>

吹付ウレタン断熱工事用原液の供給不足により、吹付ウレタン断熱工事の遅延が懸念されます。

2021年11月24日

一般社団法人日本ウレタン断熱協会（東京都中央区、会長：丸山 和久）は、吹付ウレタン断熱工事用原液（以下、「原液」という）の吹付ウレタン断熱工事業者への供給が遅れているとの情報が寄せられており、建築現場における工事の遅延を懸念しております。

大きな原因の一つとして、発泡剤 HFO の製造元である米国ハネウェル社が本年 8 月末と 9 月月初めの二度にわたるハリケーン（アイダ、ニコラス）による被害を受け、発泡剤の HFO の生産が停止し、9 月 2 日にフォースマジュール宣言を発表しております。この影響により、発泡剤 HFO の供給は通常の 50~60%程度減となっています。

また、中国では電力不足により多くの生産設備が停止しています。原液に用いる難燃剤・整泡剤の原料は中国からの輸入に大きく依存しており、この難燃剤・製泡剤も入手が困難となっています。さらに、世界的な資材不足の影響を受け、原液の主原料となるイソシアネート（MDI）も品薄の状況となっています。

吹付ウレタン断熱工事は、年間の中で 11~1 月が繁忙期にあり、本工事の遅延が予測されます。これにより後工程工事ひいては物件そのものの工期に影響することが懸念されますのでお知らせ申し上げます。

【解説】

■（一社）日本ウレタン断熱協会について

（一社）日本ウレタン断熱協会は、吹付ウレタン断熱工事業者により組織された団体で、1987 年（昭和 62 年）に設立されました。当協会の将来の後継者の育成を推進するため、国家資格・熱絶縁施工技能士（吹付け硬質ウレタンフォーム断熱工事）の修得と、社会貢献として安心・安全と耐久性のある吹付ウレタン断熱工事の供給を目的としています。

<http://www.jua.cc/index.html>

■吹付ウレタン断熱工事用原液

原液はポリイソシアネート成分とポリオール成分の 2 成分からなっており、ポリオール成分には硬質ウレタンフォームの成形に必要なポリオール、発泡剤、整泡剤、触媒、難燃剤等を混合されています。この 2 成分を混合することでポリウレタンの成形反応と泡化が同時行われ、硬質ウレタンフォームが成形されます。

■吹付ウレタン断熱工事について

吹付ウレタン断熱工事は、ドラム缶入りのポリイソシアネート成分とポリオール成分の 2 成分と専用の吹付け発泡機を現場に持ち込み、吹付け発泡機にて温度と圧力が調整し、2 成分を吹付けガンに圧送し、現場にて 2 成分を混合しながらスプレーして断熱材硬質ウレタンフォームを成形する工事です。

本リリースに関する問い合わせ先

一般社団法人日本ウレタン断熱協会

専務理事 橋谷 幸夫

Tel : 03-3667-1075

Email : insulplz@ra2.so-net.ne.jp